



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(五十四)

禅喫茶「RYUREI(りゅうれい)」

五〇周年記念事業実行委員会

勝田 かつだ
淳玄 じゅんげん

禅喫茶「RYUREI」(以下、RYUREI)は全曹青創立五〇周年記念事業における教化・交流事業の一つで、禅と喫茶を組み合わせた現地開催での企画です。

平日の夜間にカフェやホテルなどの街中にあるスペースを会場とし、坐禅と法話の後にスイーツと抹茶を召し上がっていただきます。スイーツは開催会場となるカフェやホテルに提供いただき、抹茶は僧侶がその場で点ててお出しします。

本企画タイトルのRYUREIには二つの意味があり、一つは椅子とテーブルを用いたカジュアルな茶席「立礼式」を語源としてい



ます。もう一つは、滞りなく流れる様子を意味する「流麗」です。この「流麗」が本企画の趣旨とも

言えます。

日々生活を送る中で、仕事や家庭などで慌ただしく過ごされ、心休まらぬ方もおられるのではないかと思います。RYUREIでは、僧侶による坐禅指導、法話、お店自慢の自家製スイーツと薫り高い抹茶を召し上がっていただきます。普段の日常では味わえない体験を通し、疲れた心を洗い流し、心のデトックスができる空間を提供したいと考えます。

また「茶禅一味」という禅語は、茶の湯の心と禅の心が一体であることを説いています。お茶をいただくという何気ない日常の一コマ

に禅の世界があります。本企画では坐禅や法話に加え、喫茶を通して禅の教えを知っていただき、禅へ興味を持つ機会を提供したいとも考えます。

RYUREIの第一回目は、昨年二月二〇日に石川県金沢市の小橋カフェOTABAで開催し、男女合



わせ二二名の参加がありました。お寺で行う坐禅会とは参加層が違い、若年層が多いと感じました。初めは硬い顔つきだった参加者も、坐禅、喫茶、法話と時間が進むにつれて表情も段々と和やかになり、楽しんでおられるように感じました。

全行程が終わり、参加者をお見送りする際に「楽しかったです」と一言声を掛けてくださった方も

全曹青創立五〇周年記念事業の教化・交流事業では、RYUREIの全国での定期開催やオンライン坐禅会だけでなく、一泊二日の禅のつどいの開催も計画しております。これからもRYUREIや禅のつどいなどの事業を通して、多くの方に禅の魅力を発信できるように、この二年間尽力してまいります。

いらっしやいました。その一言に我々の想いというものがないか、この企画の意義を見出せたのではないかと感じました。



●執筆者プロフィール
勝田淳玄

曹洞宗石川県青年会所属
大本山總持寺平成二三年度安居

この度の令和六年能登半島地震でお亡くなりになられた方がたのご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方がたに衷心よりお見舞い申し上げます。皆さまの生活が一日も早く復旧されますことを心よりご祈念いたします。